

背景

苫小牧港では、昭和39年の新規計画以来、これまで5回の改訂を経て、現在は平成19年に改訂された、平成30年代前半を目標年次とする港湾計画に基づき港湾整備が進められている。

しかし、計画の前提となった社会経済情勢、物流動向が大きく変化していることから、現状の課題の解決を図り、今後とも苫小牧港が時代の変化に対応した役割を果たしていけるよう港湾機能の維持・強化が求められている。

目的

長期構想の検討・策定を通じて、概ね20年～30年後における苫小牧港が目指すべき姿を展望し、港湾の開発、利用及び保全の基本的な方向を検討する。

また、我が国・北海道の発展に寄与する“みなとづくり”を進めるため、概ね15年後を目標年次とする新たな港湾計画の素案を策定する。

目標年次

- ◆長期構想の目標年次は、概ね20年～30年後(平成50～60年頃)とする。
- ◆港湾計画(短中期)の目標年次は概ね15年後の平成40年代前半に設定。

検討体制

苫小牧港長期構想検討委員会

幹事会

事務局

お問い合わせ先

苫小牧港長期構想検討委員会

北海道と苫小牧市で組織する特別地方公共団体
苫小牧港管理組合
〒053-0003 苫小牧市入船町3丁目4番21号
TEL 0144-34-5551(代表) FAX 0144-34-5559(代表)
<http://www.jpmtk.com>

北海道

苫小牧港

苫小牧港

将来の役割と目指す姿



苫小牧港長期構想(案)

苫小牧港の将来

像・役割・施策

産業とくらしを支
未来へとつな

える北の物流拠点
ぐ 苫小牧港



1 物流を未来へつなぐ 生産性向上のための物流体系の構築

生産性の高い複合一貫輸送拠点

- 展開施策1 次世代型ユニットロードターミナルの形成【RORO】
- 展開施策2 次世代型ユニットロードターミナルの形成【フェリー】
- 展開施策3 次世代型ユニットロードターミナルの形成【コンテナ】
- 展開施策4 既存ストックを活用した埠頭再編
- 展開施策5 ドライバー不足に対応する陸上輸送網の構築



3 安全・安心をつなぐ 北海道における物流の強靱化の推進

安全・安心な港湾機能を確保した海上物流拠点

- 展開施策1 フェリーバースの大規模地震対策
- 展開施策2 被災地救援の輸送拠点としての活用



5 北極海とアジアをつなぐ 北極海航路の地域的ハブ機能の構築

北極海航路の地域的ハブ港

- 展開施策1 北極海航路のアジア側におけるゲート機能の形成



2 食と観光を世界につなぐ 北海道の戦略的産業である「食」と「観光」への貢献

北海道の「食」と「観光」のゲートウェイ

- 展開施策1 「フードコンプレックス」の形成
- 展開施策2 水産物の輸出促進のための環境整備
- 展開施策3 国際クルーズ拠点の形成



4 環境を未来へつなぐ 低炭素社会の構築への貢献

環境負荷軽減に資するエネルギー拠点

- 展開施策1 SOx規制に対応する船舶への燃料補給機能の導入
- 展開施策2 水素エネルギーの供給・受入施設の配備
- 展開施策3 苫東への立地を促進する東港区の機能強化



6 地域の賑わいをつなぐ 賑わいを提供するみなとまちづくり

市民と観光客がふれあう賑わい拠点

- 展開施策1 ふれあい観光スポットの強化

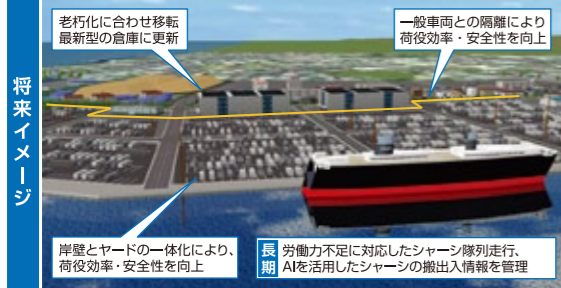


生産性向上のための物流体系の構築

展開施策1 次世代型ユニットロードターミナルの形成【RORO】

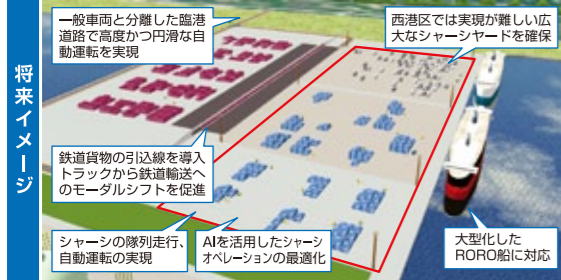
取組 西港区本港地区におけるROROターミナルの整備

西港区本港地区
西ふ頭、南ふ頭、東ふ頭、入船ふ頭



取組 東港区弁天地区における新たなROROターミナルの整備

東港区弁天地区
弁天ふ頭



- 整備効果**
- 定時性の確保、輸送品質の向上により競争力が強化
 - 荷役効率の向上により労働力不足が緩和
 - 自動運転などにより労働力不足が抜本的に解消
 - 大型船舶の利用に対応可能
 - 新規航路の参入が可能となり、航路選択が多様化

展開施策2 次世代型ユニットロードターミナルの形成【フェリー】

取組 東港区周文ふ頭の新規フェリーバースの整備

東港区浜厚真地区
周文ふ頭

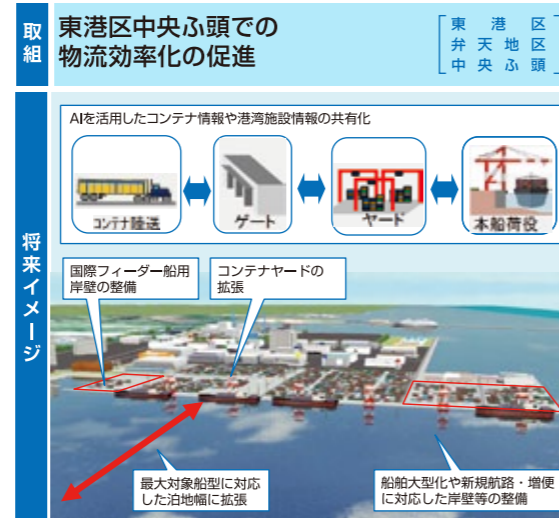


- 整備効果**
- 出港時間の変更が可能となり、集荷範囲が拡大し農水産品等の供給力が向上
 - 自動係船装置などによる省力化が図られ、労働力不足が抜本的に解消
 - 新規航路の参入が可能となり、航路選択が多様化

展開施策3 次世代型ユニットロードターミナルの形成【コンテナ】

取組 大型コンテナ船や国際フィーダーコンテナ船に対応した施設整備

東港区
弁天地区
中央ふ頭



- 整備効果**
- 大型化や積替えの円滑化に伴う輸送コスト低減により物流競争力が強化
 - ゲート前混雑の緩和などによりコンテナ輸送が効率化、ドライバー勤務時間が短縮
 - 増便や新規航路の参入により航路選択が多様化
 - 遠隔操作化などオペレータ負担軽減により労働力不足が抜本的に解消

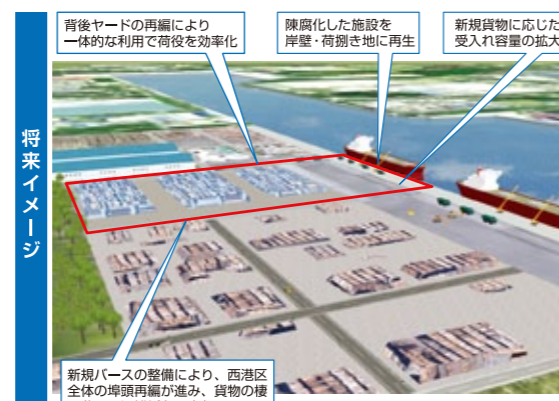
展開施策4 既存ストックを活用した埠頭再編

取組 西港区真古舞地区における連続バース化

西港区
真古舞地区
中央北ふ頭

取組 貨物の利用適正化

西港区全体



- 整備効果**
- 滞船や荷役・持ち作業に係るコストが削減
 - 新規貨物の受入が可能
 - 貨物の積み分けにより品質管理が改善
 - 老朽化対策に合わせて物流機能を改善

展開施策5 ドライバー不足に対応する陸上輸送網の構築

取組 中継輸送の活用

サービスエリアや道の駅など
道内陸部の高速道路周辺など

取組 トラック隊列走行や自動運転の活用

高速ICと各ターミナル間

取組 鉄道貨物輸送の活用

鉄道貨物の運行路線

取組 東西港区のアクセス強化

東港区～西港区の間



- 整備効果**
- 担当する距離が短縮されドライバーの労働環境が改善
 - 東西港区間の輸送距離や通勤時間が短縮
 - 回送コスト削減、トラック回転率向上、CO2削減が実現
 - 自動運転の安全性、信頼性が向上し、普及に貢献
 - ドライバー不足や小口輸送のニーズに対応



2 食と観光を世界につなぐ 北海道の戦略的産業である「食」と「観光」への貢献

展開施策1 「フードコンプレックス」の形成

取組 「食」の物流機能の強化

東港区弁天地区
中央ふ頭



- 整備効果**
- 出荷の平準化などにより道産食品の安定供給
 - 手続き時間の短縮により輸出者の利便性が向上
 - 高度な加工・保鮮などにより道産食品の品質向上が実現
 - 道産食品のコンテナ輸送における物流コスト削減の多様化が実現

取組 食関連産業の集積



- 整備効果**
- 出荷の平準化などにより道産食品の安定供給
 - 手続き時間の短縮により輸出者の利便性が向上
 - 高度な加工・保鮮などにより道産食品の品質向上が実現
 - 道産食品のコンテナ輸送における物流コスト削減の多様化が実現

長期構想 の目指す姿



(イメージパース)

4 環境を未来へつなぐ 低炭素社会の構築への貢献

展開施策1 SOx規制に対応する船舶への燃料補給機能の導入

取組 LNG燃料船へのバンカリング体制の構築 [西港区(全体)]

将来イメージ

整備効果

- フェリー等へのLNG供給により環境に優しい内航定期航路が実現
- コンテナ船等へのLNG供給により持続可能な国際海上物流に寄与

長期 Ship to Ship方式(フェリーやRO-RO船の荷役作業中に燃料供給) LNGを燃料とする外航船(コンテナ船・バルク船など)へのバンカリングを実現

展開施策2 水素エネルギーの供給・受入施設の配備

取組 水素エネルギー対応に向けた基盤整備 [東港区弁天地区 弁天ふ頭]

将来イメージ

整備効果

- 水素への代替転換によりCO2排出削減が実現
- 水素エネルギーの全国への供給拠点となり、低炭素化社会の形成に貢献

展開施策3 苫東への立地を促進する東港区の機能強化

取組 多様な利用ニーズに対応する東港区の機能強化 [東港区浜厚真地区 東港区臨海部]

将来イメージ

整備効果

- 苫東立地企業貨物の取扱が可能となり、横持ちが解消
- 多様な貨物の取扱が可能となり、東港区への企業進出を促進

6 地域の賑わいをつなぐ 賑わいを提供するみなとまちづくり

展開施策1 ふれあい観光スポットの強化

取組 本港地区賑わい空間の機能充実 [西港区 本港地区]

将来イメージ

整備効果

- イベント広場・公園(兼イベント駐車場)など キラキラ公園からフェリーターミナルへ連続する緑地、遊歩道の整備

取組 漁港区周辺の機能拡充、観光拠点化 [西港区 汐見地区]

将来イメージ

整備効果

- ほっきまつりなどのイベント広場・駐車場として漁港区と一体的な活用
- 音楽フェスなどの大型イベントの開催
- 海面土砂処分場→緑地に活用

取組 勇払マリーナの賑わいづくり [東港区 勇払浜地区]

将来イメージ

整備効果

- みなのエリアへの来訪者、観光客が増加し、観光消費が増加するなど地域活性化に寄与
- みなのイベント開催の日常化によりさらに来訪者が増加
- イベント大規模化により漁港区周辺において観光客が増加
- 安全で快適な海キャンプ、魚釣りが実現

2 水産物の輸出促進のための環境整備

取組 品質・衛生管理の向上 [西港区汐見地区]

取組 資源確保や付加価値の向上 [西港区汐見地区]

整備効果

- 異物混入リスクが低減し、漁獲物の品質が向上
- 漁業者の就労環境が改善
- 水揚げ量、付加価値、単価が向上し、水揚げ高が増加
- より高度な品質・衛生管理が可能となり、欧州など幅広い国への輸出が活発化
- 品質保持性能の高い冷凍技術の導入より、漁獲期以外でも安定供給が実現

3 国際クルーズ拠点の形成

取組 国際クルーズ拠点の形成 [西港区本港地区 東港区浜厚真地区]

将来イメージ

整備効果

- クルーズ船が一つの観光資源となり港の魅力が向上
- 市内や周辺地域での乗客による観光消費が増加
- 大型クルーズ船の寄港が可能となり、新千歳空港を利用したフライ&クルーズの発着港化の可能性

3 安全・安心をつなぐ 北海道における物流の強靱化の推進

展開施策1 フェリーバースの大規模地震対策

取組 フェリーバースの大規模地震対策 [西港区本港地区 東港区浜厚真地区 開発フェリー埠頭 周文ふ頭]

取組 ライフライン設備の強化 [全体]

将来イメージ

整備効果

- 災害時においてもフェリー等による輸送が継続され、社会経済的損失が回避
- 継続的な防災・減災の取組により、苫小牧港の強靱化を実現

展開施策2 被災地救援の輸送拠点としての活用

取組 被災地救援の輸送拠点としての活用 [西港区本港地区 開発フェリー埠頭 入船ふ頭]

整備効果

- 大規模で迅速な救援が可能となり、本州等における本州等における人命、経済的損失が回避
- 継続的な救援体制の確保により、国土強靱化に貢献

5 北極海とアジアをつなぐ 北極海航路の地域的ハブ機能の構築

展開施策1 北極海航路のアジア側におけるゲート機能の形成

取組 北極海航路の航行船舶に対する寄港サービスの提供 [全体 東港区弁天地区 中央ふ頭]

将来イメージ

整備効果

- 北極海航路を航行する船舶の寄港が増加
- 北極海航路の利用により海上輸送コストが低減
- 耐氷船の接続ポイントとして貨物が集約されることにより、北極海沿岸や欧州と北海道との貿易が活発化

安定供給が実現
性が向上
の品質・付加価値の
コスト削減や航路